

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器・一般外科科では、東北大学大学院医学系研究科病態病理学分野と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記代表責任研究機関に対して提供しています。

下記共同研究課題での利用のため本学から提供する残余検体・診療情報等については、この共同研究での利用・提供についての同意が研究対象者の方から得られていませんが、当該利用・提供を行うことについて、「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由等が倫理審査委員会によって認められて、本学の理事長が提供を許可しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]人工知能による膵胆道がん病理画像情報からの効果的診療情報の抽出を目的とする後向き観察研究

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：東北大学 医学系研究科 病態病理学分野・教授 古川 徹  
本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学 消化器・一般外科 講師 樋口亮太  
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）、ファックス：03-5269-7507  
Eメール：higuchi.ryota@twmu.ac.jp

[利用・提供の対象となる方]

2010年～2021年4月までの間に、当院消化器・一般外科科において膵胆道がんと診断され、診断・治療を受けられた方

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：手術による病理標本  
診療情報等：年齢、性別、術前化学療法の有無、ステージ分類、癌の部位、大きさ、リンパ節転移や他臓器浸潤の有無、基礎疾患の有無と種類、組織型、異型度、脈管侵襲、神経周囲浸潤、漿膜浸潤、後腹膜浸潤、膵外神経叢浸潤、血管浸潤、線維化程度、術前化学療法効果分類、深達度、Ki-67標識率、癌関連遺伝子発現異常、生存年数、予後、画像情報、臨床情報、遺伝子変異情報、病理診断情報

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：有）

人工知能による膵胆道がん病理画像情報からの効果的診療情報の抽出を目的とした共同研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 東北大学、医学系研究科 病態病理学分野、教授 古川 徹
2. 理化学研究所 革新知能統合研究センター 山本 陽一郎

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2026年3月までの間（予定）  
提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[遺伝情報の開示] 提供者が自らの遺伝情報の開示を希望している場合、原則として開示します。ただし提供者若しくは第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれ又は当該研究を行う機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合、その全部 または一部を開示しないことができます。

[二次的所見に対する対応]以下の事項に配慮し方針を決定します。ア 当該遺伝情報が提供者の健康状態等を評価するための情報としての精度や確実性を有しているかどうか イ 当該遺伝情報が提供者の健康等にとって重要な事実を示すものであるかどうか ウ 当該遺伝情報の開示が研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがないかどうか

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：消化器・一般外科 教授 江川裕人  
研究内容の問い合わせ担当者：消化器・一般外科 樋口亮太  
電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）  
ファックス：03-3353-8111 Eメール：higuchi.ryota@twmu.ac.jp